

有限会社仁徳砂利 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2023年5月25日

有限会社仁徳砂利
代表取締役 岡村 文美子

◆経営方針

「安心・安全」な輸送・サービスを通じて、お客様に感謝される企業、社会に貢献できる企業を目指し、時代と共に変化する社会環境とお客様のご要望に迅速・柔軟に対応できる物流サービスを提供する。

◆目指す姿

建設資材の運搬からリサイクルまでの一貫体制により、地域の環境問題や循環型社会への貢献のほか、地域教育への貢献など、地域と共に成長できる持続可能な企業を目指します。

SDGsの達成に向けた取り組み

環境配慮型製品・サービスの提供

持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進する。

<具体的な取り組み>

建設発生土を高品質な改良土へ再生、環境負荷の低減を図ると共に、持続可能な資源活用の構築に貢献する。

— 関連ゴール —



環境問題への取り組みの公表

建設発生土リサイクル事業の取り組みにより、情報開示を進め、自社の環境影響に関する透明性を高めます。

<具体的な取り組み>

埋立処理される建設発生土を減量化し最終処分場の延命に寄与する。／新材の大量消費による自然体系の破壊や環境負荷の軽減に努める。

— 関連ゴール —



移動・輸送における環境配慮の推進

社有車、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。

<具体的な取り組み>

順次、大型ダンプを最新技術の搭載されている低排出ガス車へ移行する。／エコドライブの推進。／アイドリング・ストップの推進。

— 関連ゴール —



教育への貢献

自社の経営資源を最大限活用し地域の教育に貢献する活動を行います。
社員の業務経験に合わせ、建設業に関わる講習を受講させています。

<具体的な取り組み>

リサイクルをより理解してもらうことを目的に、地域の小中学生等の社会科見学の入入や高校生への職場体験授業へ参加。／1級、2級土木施工管理技士の受験費用等を全額会社負担とし国家資格取得を推進。

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

